

伝えたい、六ヶ所の風景。 静寂の朝

冬が深まると、尾駮沼にも氷が張り始めます。
冷え込んだ早朝、1匹のホンドギツネが
氷結した湖面でゆっくりと歩を進めています。
夜行性のキツネにとって、早朝は眠りにつく時間。
巣穴への道は、まだまだ遠いようです。



1

1_ 氷結した尾駮沼の沼面を渡るホンドギツネ。ホンドギツネは北海道に生息するキタキツネより少し小さく、腹部、頬、尾の先は白い

2・3_ ホンドギツネの近くに飛来したオオワシ（若鳥）。しばしばオジロワシなども参戦して、エサを奪い合う風景も見られます（写真提供：一戸一晃さん〈財環境科学技術研究所〉）



2



3